

ちどり

vol.41

MAY 2019



特集1 診療科のご紹介 2019

特集2 就任のご挨拶



Contents

- 新年度ご挨拶
- 第41回九州地区重症心身障害研究会を主催しました
- 地域医療連携室だより 総合支援センタートピックス
- 災害実働訓練は地域のため
- 第38回福岡救急医学会を古賀市で開催します

院長挨拶

新年度ご挨拶

病院長 江崎 卓弘

「平成」から「令和」へ改元された2019年春、
多くの新入職員を迎えた新年度にあたりご挨拶を申し上げます。

院長を拝命し3年目を迎えます。就任時に掲げた理念『当たり前のことを実践し、地域に信頼される病院』、第一目標の“断らない、患者目線の、救急医療”を病院内外に発信し続けてきました。その結果、毎年少しずつではありますが救急患者の診療件数、入院患者数は前年を上回る様になりました。これも全職員の努力と地域の皆さんの支えがあったのことと感謝いたします。

福岡東医療センターは、昭和37年（1962年）国立福岡療養所、国立療養所清光園、国立療養所福寿園が統合し国立療養所福岡東病院として発足、平成16年（2004年）に独立行政法人に組織替えし、今年57年目となります。23診療科の急性期病棟、結核病棟、重症心身障害児（者）病棟、平成26年（2014年）に三次救命救急センター、感染症センター（第1種感染症指定医療機関）を開設、多くの診療機能を有する病院になりました。

日本では今、人口構成の変化に伴い医療と介護が必要な高齢者が増加してきたことで医療・介護の連携強化と提供体制の再構築が行われています。国民皆保険を賄う財政基盤は悪化する一方、ロボット手術等の高度先進医療技術や効果的な高額医薬品の普及など治療法も様変わりしています。現場では医療従事者の勤務時間が問題視された“働き方改革”、専門細分化して進歩した診療レベルに抗うように多くの併存疾患を持つ高齢患者、必要とされる医療の安全と質、そして病院の在り方を再考するための医療・介護に関するビッグデータの分析活用など、これまで経験したことがない時代を迎えています。

このような変化に対応するには、病院内外で関係者が現状を理解し、協議し、実践すること、何より各自が変わろうと意識して互いに協力し合うことが必要です。

福岡東医療センターは、地域の皆さんが安心して生活できるよう地域の医療機関、行政と連携協力し、この変革期を職員一丸で取り組んでいきますので、ご協力をよろしく願いいたします。



診療科のご紹介

Fukuokahigashi Medical Center

2019



1 脳神経内科

メンバー紹介

副院長：中根 博
部長：黒田 淳哉
医員：立花 正輝、古森 元浩、三浦 聖史（リハビリ科医長併任）、
村谷 陽平
神経内科医長：田中 恵理



当科の特徴・取り扱い疾患

脳血管障害全般（脳梗塞・脳出血・一過性脳虚血発作）、めまい症、頭痛、
痙攣発作、認知症、髄膜炎、その他の神経疾患（パーキンソン病、重症筋無力症、ほか）

入院診療実績（平成 29 年度）

脳血管障害：213 例（脳梗塞：152 例、脳出血：42 例など）、神経疾患：188 例（てんかん／痙攣：59 例、
めまい：49 例、パーキンソン病：22 例など） ※超急性期血栓溶解療法（t-PA 静注療法）：18 例（平成 30 年実績）

地域の先生方へ

脳神経外科とチームを組んで、脳血管障害をはじめさまざまな神経救急疾患に 24 時間 365 日対応いたします。
脳神経疾患が疑われる場合は、遠慮なくご連絡下さい。

2 腎臓内科

メンバー紹介

医長：黒木 裕介
医員：永江 洋、松枝 修明、生島 真澄、竹内 実芳

当科の特徴・取り扱い疾患

蛋白尿、慢性腎臓病、急性腎障害、ネフローゼ症候群、末期腎不全、
シャントトラブル、血液浄化療法全般

診療実績（2018 年）

入院件数：269 例
腎生検：33 例
透析導入：43 例
手術件数（シャント手術など）：50 例



地域の先生方へ

日常診療は地域の先生方と連携しつつ、慢性腎臓病の進行を抑えるために様々な提案を行います。

3 血液内科

メンバー紹介

臨床研究部長：黒岩 三佳
医 員：齋藤 統之

当科の特徴・取り扱い疾患

悪性リンパ腫、急性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病など

診療実績

2018 年度疾患別外来のべ患者数：3,665 名

2018 年度疾患別入院のべ患者数：7,137 名（上位5疾患は以下のとおり）

① 非ホジキンリンパ腫 ② 骨髄異形成症候群 ③ 急性白血病 ④ 多発性骨髄腫 ⑤ ホジキンリンパ腫

地域の先生方へ

血液内科は造血器疾患の診断・鑑別と治療を行っています。患者さんの状況に応じて、九州大学病院・関連施設と連携して対応します。鉄剤を処方しても貧血が治らない、血小板減少、リンパ節が腫れている等ありましたら、ご紹介ください。



4 糖尿病・内分泌内科

メンバー紹介

医 長：野原 栄、堤 礼子
医 員：原 功哉

当科の特徴・取り扱い疾患

2型糖尿病、1型糖尿病、肥満症、
甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍）
その他の内分泌疾患（副腎、副甲状腺、下垂体）

診療実績

糖尿病教育入院：76 人

地域の先生方へ

リブレプロにより詳細に血糖パターンを分析し、実行可能な食事療法、患者さんそれぞれに最適な薬物療法を考えます。初回指摘の患者さん、HbA1c 8%以上で難渋している患者さん、遠慮なくご相談ください。



5 感染症内科

メンバー紹介

医 長：肥山 和俊
医 員：南 順也

当科の特徴・取り扱い疾患

一般感染症、輸入感染症（海外渡航後に発熱、下痢等を呈した患者）、不明熱

診療実績

入院患者（平成 29 年度）：149 人（呼吸器感染症：44 人、消化器感染症：2 人、腎・泌尿器感染症：35 人、皮膚感染症：13 人、骨・軟部組織感染症：2 人、脳神経感染症：2 人、その他感染症：24 人、その他疾患：27 人）

地域の先生方へ

輸入感染症や流行性ウイルス感染症（麻疹、風疹、ムンプス及び水痘）が疑われる場合は、隔離診察室で診察させて頂いております。

ご紹介の際には、事前に感染症内科医師までご一報頂きますようお願い申し上げます。



6 消化器・肝臓内科

メンバー紹介

部長：田中 宗浩（消）、大越 恵一郎（膵）
医長：多田 靖哉（肝）、坂井 慈実（消）、松尾 享（膵）
医員：藤井 宏行（消）、細川 泰三（消）、有吉 明日香（消）、
糸永 周一（消）、橋本 憲和（消）、松本 芽衣（消）、
高尾 信一郎（肝）、青柳 知美（肝）、埜田 あかり（肝）、
梯 祥太郎（膵）



当科の特徴・取り扱い疾患

早期胃・大腸腫瘍、総胆管結石、胆道癌、膵癌、肝臓癌、肝硬変、肝炎、食道静脈瘤

診療実績（2018年）

上下部内視鏡検査：5,177件、上下部ESD：139件、ERCP：330件、RFA：63件、TACE：45件、
硬化療法：78件

地域の先生方へ

各種消化管腫瘍の内視鏡治療やERCP、肝臓癌の局所治療など特殊治療も行っております。

7 循環器科

メンバー紹介

医長：小池 明広
医員：中司 元、細谷 まるか、野田 裕剛、升井 志保、
出石 さとこ、進藤 周一郎



当科の特徴・取り扱い疾患

虚血性心疾患（急性心筋梗塞や狭心症など）、不整脈（心房細動など）、
臓弁膜症、心筋症、心不全、成人先天性心疾患、動静脈疾患（深部
静脈血栓症など）、肺高血圧症 など

手術件数（2018年）

冠動脈カテーテルインターベンション：215件（心筋梗塞例42件を含む）
末梢血管カテーテルインターベンション：44件、不整脈カテーテルアブレーション：11件
ペースメーカ植え込み術：39件（リードレスペースメーカ2件を含む）

地域の先生方へ

成人の循環器疾患は疑い例にかかわらず24時間365日、いつでも必ず診療させていただきますので、遠慮なくご連絡ください。心臓外科はありませんが、迅速な評価の上、必要に応じて九大病院をはじめとした近隣施設と連携して対応致します。

8 呼吸器内科

メンバー紹介

部長：高田 昇平、田尾 義昭
医長：吉見 通洋、山下 崇史
医員：中野 貴子、木村 信一、迫田 宗一郎、中川 泰輔



当科の特徴・取り扱い疾患

呼吸器疾患全般

入院では肺癌、肺炎、肺結核、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺疾患、
気管支喘息・COPDなどの症例が多く、その他非結核性抗酸菌症や真菌症などの呼吸器感染症や胸膜疾患、呼吸不全、
咯血、肉芽腫性疾患や各種びまん性肺疾患も診療しています。

診療実績（平成29年）

気管支鏡：372例（ベッドサイド施行例は除く）、肺癌内科的治療導入：105例、SAS検査：73件

地域の先生方へ

呼吸器疾患であれば呼吸器外科や放射線科を含め他科とも連携をとりながらしっかり診療して参ります。

9 外科

メンバー紹介

部長：大賀 文史
医長：石田 真弓、辻田 英司
医員：信藤 由成、笠木 勇太、中山 湧貴

当科の特徴・取り扱い疾患

消化器疾患（食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓など）
乳腺疾患全般、一般外科（ヘルニアなど）

手術件数（2018年度）

消化管：242件（食道：5件、胃：32件、腸：187件、虫垂：18件）
肝胆膵：133件（肝臓：25件、胆嚢・胆管：93件、膵臓：15件）、乳腺：37件、その他：48件
全460件（内 腹腔鏡下手術：143件）

地域の先生方へ

安全で、堅実な外科医療を提供し、皆様方との病診連携を一層意識しながらスタッフ一同鋭意努力していきたいと考えております。



10 血管外科

メンバー紹介

部長：限 宗晴

当科の特徴・取り扱い疾患

腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、
膝窩動脈瘤 など

手術件数（2018年）

腹部大動脈瘤：13件（ステントグラフト6件を含む）
動脈血行再建（バイパス）：19件（下腿・足部バイパス10件を含む）
動脈血行再建（血管内治療）：29件
下肢静脈瘤手術：32件（レーザー焼灼術29件を含む）

地域の先生方へ

血管外科では胸部と頭頸部を除いた全身の動脈疾患、下肢静脈瘤に対する診療を行っております。また、高齢で併存疾患をお持ちの方に対しても他科との連携を密に図り、患者様にとって最善の治療を行えるよう努めています。



11 整形外科

メンバー紹介

部長：中家 一寿、吉田 裕俊
医長：福元 真一
医員：松原 弘和、岡本 重敏、吉武 孝次郎、柴原 啓吾、名取 孝弘

当科の特徴・取り扱い疾患

下記手術を積極的に行って参りますので、よろしくお願ひ致します。

- ①中家：肩腱板断裂手術・手根管・手の外科・小児の骨折
- ②吉田：頸椎・胸椎・腰椎の除圧およびインスツルメンテーションを用いた後方・前方固定術
- ③福元：外反母趾・足の外科
- ④松原：前十字靭帯再建術などのスポーツ障害・脛骨高位外反骨切り術などの関節温存手術
- ⑤岡本：人工膝関節全置換術・人工膝関節単顆置換術・人工股関節置換術
- ⑥吉武・柴原・名取：外傷全般

診療実績

手術件数：935件

地域の先生方へ

お陰様で平成29年度および平成30年度の整形外科の年間新患者数は2,500名、手術症例数は900例を超えています。整形外科領域では、悪性骨軟部腫瘍を除いて、それぞれ専門性を活かして広範な領域カバーしています。近隣の先生方のご協力のもと、当センターの整形外科を益々充実させていきたいと存じます。



12 脳神経外科

メンバー紹介

部長：大城 真也
医長：保田 宗紀
医員：千住 緒美、小川 さや香

当科の特徴・取り扱い疾患

脳腫瘍（原発性・転移性）、脳血管障害（脳出血・脳梗塞）、頭部外傷、水頭症、脊椎・脊髄疾患など

手術件数（2018年）

脳腫瘍摘出術：9例、内視鏡下脳内血腫除去：10例、動脈瘤クリッピング：10例、動脈瘤コイルリング：9例、頸動脈狭窄症：4例、急性期血行再建：14例、頭部外傷：27例、水頭症シャント：7例

地域の先生方へ

種々の中枢神経系疾患に対して脳神経内科と協力しながら24時間体制にて対応しています。急性期治療に引き続き、必要があれば近隣の回復期病院あるいは療養施設へのスムーズな連携も構築されています。



13 呼吸器外科

メンバー紹介

統括診療部長：岡林 寛
部長：瀧武 大輔
医長：前川 信一、中島 裕康
医員：阿部 創世

当科の特徴・取り扱い疾患

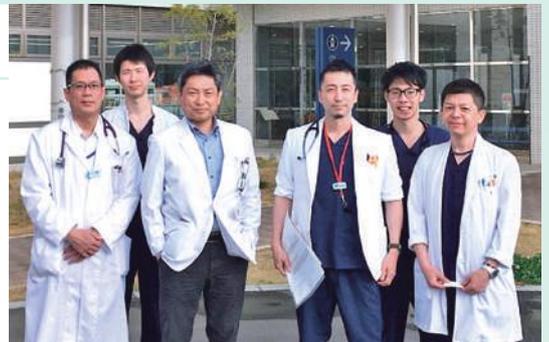
肺・胸膜・気道だけでなく縦隔・胸郭・横隔膜まで呼吸器外科領域の全てを治療対象としています。

毎年300例の手術数を誇り、100例を超える肺癌手術は胸腔鏡手術を主体に展開しています。

肺悪性腫瘍および良性腫瘍、転移性肺腫瘍、炎症性肺疾患（結核や肺化膿症）、膿胸、気胸、縦隔腫瘍、気道病変など何でも診ます。その他、甲状腺腫瘍に対する切除も行っています。

地域の先生方へ

「よく診て・よく聞き・やさしく治す」をスローガンに親身な医療を提供します。
手術&チーム力に自信あり。



14 小児科

メンバー紹介

部長：石崎 義人、水野 勇司
医長：馬場 晴久
医員：増本 夏子、松永 遼、馬場 理絵子、桜井 百子、富田 宜孝、吉里 倫、中原 和恵

当科の特徴・取り扱い疾患

小児の感染症、成長障害、内分泌疾患、喘息・アトピー性皮膚炎・

食物アレルギー、神経疾患・発達障害・てんかんなど、急性疾患から慢性疾患まで幅広い範囲を扱います。小児循環器、腎臓病、血液疾患は九大小児科から週1回専門外来にきています。重症心身障害児（者）の短期・長期入所をいずみ病棟で受け入れています。

地域の先生方へ

小児の急患は、平日～土曜までいつでも診療させていただきますので、遠慮なくご連絡ください。専門外来として、神経・発達、アレルギー、内分泌を対応、循環器、腎臓、血液は九大より専門医が週1回担当します。



15 歯科口腔外科

メンバー紹介

医長：吉田 将律 医員：沖永 耕平 歯科衛生士：3名

当科の特徴・取り扱い疾患

当科では口腔外科疾患の診療や開業医の先生では困難な有病者の抜歯などの外科処置を行い、一般歯科治療は地域開業医の先生方に行っていただく、地域支援型の診療を行っています。取り扱い疾患は外科処置が必要な歯疾患、嚢胞、良性腫瘍、粘膜疾患、炎症、顎骨壊死、外傷、顎関節疾患で、口腔癌の治療は、九州医療センター歯科口腔外科と連携し最適な治療を行っています。近年増加している周術期口腔機能管理についても地域の先生方と協力しながら治療を行っています。

診療実績

H 30 年度の初診外来患者数は 1,399 人で、入院患者は 39 名でした。外来手術は局所麻酔下に抜歯や歯根端切除、嚢胞摘出など小手術を行い、入院では全身麻酔下に顎骨嚢胞、腫瘍摘出や骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する腐骨除去などの手術を行いました。

地域の先生方へ

医科の先生方からのご紹介も積極的に受け入れておりますので、口の中のことでお悩みの患者様がおられましたらご紹介をお願い致します。



16 麻酔科

メンバー紹介

医 長：安部 伸太郎
医 員：松元 成弘、安井 麻都香、中上 晴紀

当科の特徴

- 硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔だけでなく、超音波装置を使用した各種神経ブロックにより術後痛軽減に努めております。
- 必要な症例では脳波モニターなど、最新の機器を使用してより安全な麻酔管理を提供します。
- 患者さんの立場になって麻酔方法等の計画を行い、より安全に快適に手術を受けて頂けるように日々努力をしております。

地域の先生方へ

当科は常勤4人と非常勤1人の5人体制を基本として毎日の麻酔管理業務を行っています。年々手術件数が増加する中、安全であり、かつ術後の痛みが少なくなるような麻酔管理を提供します。



17 皮膚科

メンバー紹介

部 長：古賀 哲也
医 員：横手 銀珠

当科の特徴・取り扱い疾患

皮膚症状に関する診療全般を行い、外来、入院診療、手術も実施。湿疹皮膚炎、乾癬、感染症、薬疹、皮膚腫瘍、熱傷、水疱症など。

診療実績

平成 29 年度の入院患者総数は 203 名。
(疾患別：皮膚腫瘍 88 名、ウイルス感染症 41 名、細菌感染症 35 名、その他 39 名)
手術件数は 101 件。

地域の先生方へ

地域の先生方から、また患者さん、その家族から信頼される地域診療を目指しています。



18 救急科

メンバー紹介

センター長：奥山 稔朗 部長：安田 光宏 副部長：八木 健司

当科の特徴・取り扱い疾患

複数診療科にまたがる重篤な病態が対象
心肺停止、重症多発外傷、急性心筋梗塞、脳卒中、急性腹症等

2018年救急搬送患者データ

救急搬送件数：3,662件 内入院：1,938件（55%）

入院患者 1,938件の内訳

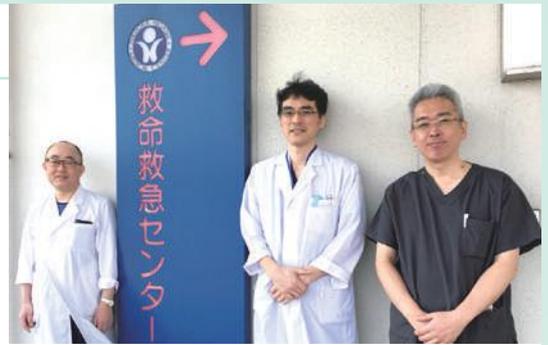
内科系：1,071件（脳内：258件、呼吸器内：249件、循環器内：214件、消化器内：190件、
感染症内科：72件、他：88件）

外科系：478件（脳外：102件、呼吸器外：60件、消化器外：56件、整形外科：246件、他14件）

小児科：140件、救急科：249件

地域の先生方へ

当センターは救急科と全診療科との協力体制の下に運営されています。
夜間は当直医5名体制で、地域の皆様への救急医療を提供しております。



19 婦人科

メンバー紹介

医 長：内田 聡子

医 員：河村 英彦

当科の特徴・取り扱い疾患

不妊症（体外受精、人工授精を含む）、子宮内膜症、子宮筋腫、良性
卵巣腫瘍、子宮ポリープ、月経トラブル（月経痛、月経不順、無月経、
過多月経、月経前症候群）、思春期発来異常、更年期障害、異所性妊
娠、卵巣茎捻転など

診療実績（2018年）

腹腔鏡手術：39件、子宮鏡手術：37件、開腹手術：26件、腔式手術：4件、
体外受精：採卵51周期、新鮮胚移植8周期、凍結融解胚移植49周期、人工授精：97周期

地域の先生方へ

日常生活を保ちながら外来中心の治療を行ったり、可能な限り身体への負担が小さくなるよう、外科治療の前に薬物療法を組み合わせたり、鏡視下手術を第一選択としたりすることによって、女性が生き生きと活躍できる一助になるよう願いつつ、日々の診療を行っています。



20 臨床検査科

メンバー紹介

臨床検査科長：居石 克夫

当科の特徴・取り扱い疾患

各診療科から提出される検体の生化学・免疫検査、血液検査、細菌
検査や患者さんを直接調べる生理機能検査を行っています。

診療実績（2018年度）

生化学・免疫検査：1,368,305件、血液検査：206,527件、細菌検査：43,109件
生理機能検査：35,170件

地域の先生方へ

確実な精度の高い検査情報の迅速な提供に努めています。



21 病理診断科

メンバー紹介

医 長：藤田 綾

当科の特徴・取り扱い疾患

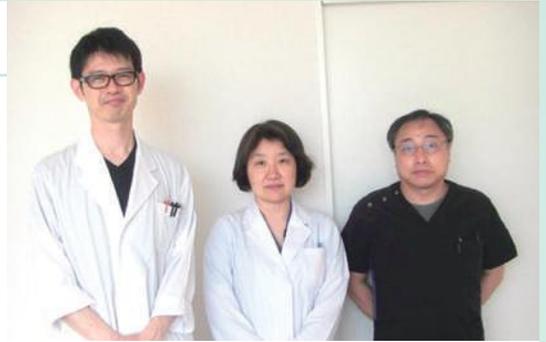
各科より提出される検体の病理組織診断・細胞診断を行っています。

診療実績 (2018年度)

病理組織診断：4,623 例（術中迅速：90 例）、
細胞診断：1,349 例（術中迅速：48 例）、病理解剖：8 例

地域の先生方へ

より良い治療のための一助となる診断を行うべく、細胞検査士2名とともに励んでいます。



22 放射線科

メンバー紹介

診 断 部 長：井上 昭宏

医 員：進村 明子、和田 憲明、池 俊浩

治 療 医 員：白川 友子（月）、松本 圭司（金）、中島 孝彰（水）

※ 治療は非常勤で各曜日担当

当科の特徴・取り扱い疾患

CT：3台（64列3台（1台は治療、1台は救命センターと併用））

MRI：2台（1.5T）、SPECT：1台

血管造影装置（パイプレン：1台、心臓カテーテル装置：1台）、その他、一般撮影装置など

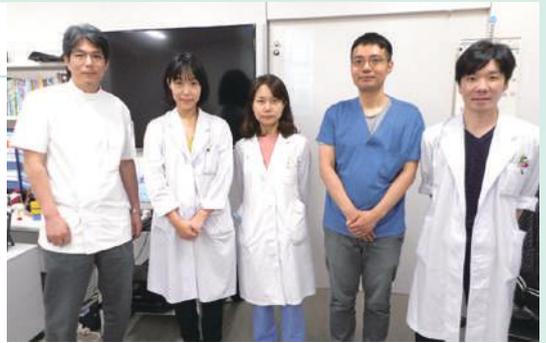
リニアック治療装置：1台

診療実績 (2018年度)

CT：17,634、MRI：6,284、核医学：1,122、血管造影（当科）：68、単純写真：48,105、治療：221 件 など

地域の先生方へ

迅速で正確な診断、適切な放射線治療を心がけております。今後ともよろしくお願いたします。



就任のご挨拶



救命救急センター部長 **安田 光宏**

4月より赴任いたしました救急科の安田でございます。地域の救急医療のお役に立てるよう努力します。よろしくお願いいたします。



歯科口腔外科医長 **吉田 将律**

4月より赴任致しました吉田将律と申します。前任は九州医療センターで口腔外科一般、摂食嚥下を中心に16年間研鑽を積んで参りました。当院および地域医療に貢献できるよう努力して参りますので宜しくお願い致します。



放射線科部長 **井上 昭宏**

4月より当院に赴任して参りました放射線科の井上です。画像診断を専門としております。患者さん、先生方に信頼される様がんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



リハビリテーション科医長・脳神経内科医師
三浦 聖史

脳卒中とリハビリテーションが専門です。正確な診断、治療のみならず、患者さんの生活を見据えた診療を心がけています。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



呼吸器外科部長 **濱武 大輔**

今年度より当院呼吸器外科へ赴任となりました濱武でございます。呼吸器外科の分野を通して患者様をお力添えして参りたいと思います。宜しくお願いいたします。



麻酔科医師 **松元 成弘**

患者さんに安全・安心な手術を受けていただけるようつとめます。



小児科部長 **石崎 義人**

4月より当院に赴任してまいりました小児科部長の石崎義人でございます。専門は小児神経になります。地域の小児医療に貢献できるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



外科医師 **笠木 勇太**

地域の皆様のお役に立てる様努力する所存です。よろしくお願いいたします。



内科医長 **黒木 裕介**

4月より赴任しました黒木です。蛋白尿や腎臓病のこと、透析療法やシャントのこと、何でもお気軽にお尋ねください。どうぞよろしくお願いいたします。



放射線科医師 **進村 明子**

4月より赴任して参りました放射線科の進村です。丁寧な仕事を心がけて、少しでもお役に立てるようがんばります。宜しくお願い致します。



麻酔科医長 **安部 伸太郎**

患者さんの術後の痛みが少なくなるような麻酔管理を心掛け、また安全な手術室運営ができるよう努力します。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科医師 **木村 信一**

呼吸器内科の木村です。大学院を卒業後、1年間の大学病院での勤務を経て、赴任となりました。呼吸器疾患のなかでは主に肺癌を専門としています。貢献できるように頑張りたいと思います。



呼吸器外科医長 **中島 裕康**

2019年4月から赴任いたしました、呼吸器外科医師の中島裕康と申します。専門は呼吸器外科領域の疾患（肺癌・縦隔腫瘍・気胸など）となります。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経内科医師 古森 元浩

4月より当院に赴任してまいりました脳神経内科の古森です。脳卒中を専門にしております。地域の皆様に貢献できるよう、精進いたします。どうぞよろしくお願いたします。



感染症内科医師 南 順也

患者さんに寄り添う医療を提供できるように頑張ります。宜しくお願いします。



循環器科医師 野田 裕剛

病院スタッフと地域の患者様に信頼されるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



皮膚科医師 横手 銀珠

4月より赴任しました皮膚科の横手銀珠です。患者さんに信頼してもらえる医師を目指してがんばります。よろしくお願致します。



小児科医師 松永 遼

4月から当院に赴任しました小児科の松永遼です。地域の小児科医療に貢献できれば幸いです。宜しくお願いいたします。



呼吸器内科専攻医 迫田 宗一郎

4月より当院に赴任して参りました呼吸器内科専攻医の迫田と申します。地域の医療に貢献出来るよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願致します。



整形外科医師 吉武 孝次郎

4月より赴任しました整形外科の吉武です。地域の皆さまの力になれるよう努力します。よろしくお願いたします。



呼吸器内科専攻医 中川 泰輔

4月より当院に赴任して参りました呼吸器内科の中川泰輔でございます。どうぞよろしくお願致します。



整形外科医師 柴原 啓吾

真摯に対応致します。どうぞよろしくお願致します。



循環器科専攻医 進藤 周一郎

4月より赴任して参りました循環器の進藤です。地域の医療に貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



小児科医師 桜井 百子

子ども達とご家族にとってより良い医療を提供できるよう頑張ります。



糖尿病内科専攻医 原 功哉

今年度から東医療センターで働かせていただくことになりました糖尿病内科の原です。患者様のためになる診療を心掛けていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。



消化器内科医師 糸永 周一

消化管一般に加え、癌治療にも尽力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。



消化器内科専攻医 埜田 あかり

4月より当院に赴任して参りました。消化器・肝臓内科専攻医の埜田あかりでございます。専門は肝臓です。どうぞよろしくお願致します。



循環器内科医師 升井 志保

4月から循環器内科に参りました升井と申します。患者様に寄り沿った医療を目指したいと思っております。よろしくお願致します。



消化器内科専攻医 梯 祥太郎

4月より当院に赴任して参りました消化器内科の梯祥太郎でございます。胆・膵領域を中心に学ばせて頂きます。どうぞよろしくお願致します。



外科専攻医 中山 湧貴

外科医としてはまだかけ出しですが、研鑽を積んで皆様のお役に立てるよう精進して参ります。



臨床研修医 石野 史晃

研修医1年目の石野史晃と申します。ラ・サール高校から産業医科大学を経て、4月からお世話になります。学生時代は剣道をしていました。2年間精一杯努力して参りますので、御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。



整形外科専攻医 名取 孝弘

4月より当院に赴任して参りました整形外科の名取孝弘です。整形外科1年目ですが、皆さんの期待に応えられるよう、全力を尽くして取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医 阿部 秀樹

福岡東医療センター 臨床研修医1年目の阿部秀樹と申します。出身は福岡で、長崎大学を卒業して、こちらに参りました。1年目で右も左も分からない身ですが、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



小児科専攻医 富田 宜孝

4月より当院に赴任して参りました小児科の富田宜孝です。宜しくお願い致します。



臨床研修医 岡部 百合菜

福岡東医療センター 臨床研修医1年目の岡部百合菜です。初めてのことばかりで至らぬ点が多々あり、ご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



小児科専攻医 吉里 倫

4月から当院に赴任した小児科の吉里です。医師3年目で分からないことも多いため、これから経験を積ませて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医 岩尾 美紀

初めまして、研修医1年目の岩尾美紀です。高校まで大分、大学は熊本で、この度初めて福岡に住むことになり、嬉しいです。工作中、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、ご指導よろしくお願い致します。



麻酔科専攻医 安井 麻都香

患者さんの安全を第一に考え、より良い麻酔を心掛けます。よろしく願います。



臨床研修医 亀山 希

初めまして。研修医1年目の亀山希です。花鶴小、古賀中出身です。高校・大学は離れましたが地元愛で古賀に戻ってきました。頼れるドクターになれるよう日々精進いたします。よろしく願います。



麻酔科専攻医 中上 晴紀

安全で確実な麻酔を目指しがんばります。よろしく願います。



臨床研修医 藤田 泰裕

今年度から東医療センターでお世話になります初期研修医1年目の藤田泰裕です。2年間の研修のはじめの2カ月は循環器内科に所属させていただいております。周りの皆様方に御迷惑をかけてしまうと思いますが、早く仕事を覚え、少しでも皆様の、患者様のお役に立てるよう頑張っていますのでどうぞ宜しくお願い致します。



臨床研修医 姫野 夏季

初めまして。研修医1年目の姫野夏季と申します。4月から1年間研修させていただくことになりました。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



診療放射線技師長 宮島 隆一

4月より小倉医療センターから赴任してまいりました宮島です。『気づきの心が築く医療』をモットーに地域の皆様に貢献できる放射線科を築きたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



2階西病棟看護師長 佐倉 志洋

この度、2階西病棟の看護師長として配置になりました佐倉志洋です。以前、福岡東医療センターで勤務していましたが、病院が大きくなって私の記憶している病院とは全く違うものに驚いています。これからは他部署の方と連携を図っていききたいと思いますのでご協力、ご支援のほどよろしく申し上げます。



リハビリテーション科作業療法士長 高木 利栄子

4月より西別府病院から異動した高木（たかき）と申します。久しぶりの急性期で緊張しています。少しでも皆様のお力になれるよう努力していきますのでよろしく申し上げます。



企画課長 横尾 大輔

この度、九州医療センターから転勤して参りました。当院の財政状況は、まだまだ厳しい状況ではありますが、やりくりしながら、当院の運営に支障ないように努力していききたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。



療育指導室長 酒井 英佑

当院で7年間勤務後、3施設を移動して7年ぶりに戻ってきました。以前と比べ建物やシステムが変わり、さらには立場も変わって慣れないことばかりで至らない点多々あるかと思いますが、努力します。どうぞよろしく申し上げます。



経営企画室長 瀬上 誠

平成31年4月、琉球病院より経営企画室長として赴任しました瀬上と申します。各部署の方々と連携を深めながら病院経営に貢献出来るように努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

第41回 九州地区重症心身障害研究会を主催しました

小児科部長 水野 勇司

平成31年3月9日（土）江崎卓弘院長を会長、久山療育園宮崎信義センター長と国立病院機構大牟田病院川崎雅之院長を副会長として、九州大学医学部百年講堂を会場に開催しました。

九州・沖縄地区の重症心身障害児（者）の施設・病棟を有する国立病院機構、公法人立施設の職員を対象とした研究会で、年1回持ち回りで担当し、当院が主催するのは8年ぶりでした。

事前参加は300人、当日参加は約60人で、医師、看護師、リハビリ、栄養士、介護福祉職の各職種が参加しました。研究会運営にあたるスタッフは当院から60名、久山療育園、大牟田病院からそれぞれ13名に加えて、福岡女学院看護大学の学生さん10名

にもお手伝いいただきました。参加者は病棟施設職員のみならず、重症心身障害医療福祉に興味ある一般病院、行政、特別支援学校からも研究会に参加いただきました。

一般演題は68題集まり、重症心身障害児（者）の医療、看護、療育・福祉に関する多方面にわたる発表で会場は盛り上がりました。当院の栄養課から発表した「凍結含浸

法導入について」の演題は優秀演題賞に選ばれました。特別講演は、西南女学院大学保健福祉学部準教授笹月桃子先生による「重症心身障害児（者）の緩和ケアについて考える」でした。重度の障害をもつ患者さんたちにも緩和ケアの発想や試みが必要であることを学びました。



地域医療連携室だより

総合支援センター トピックス

Topics

当院で開催する研修会の年間計画をお知らせいたします。新年度も地域の医療従事者のみなさまに役立つ研修会を計画しております。多くの方のご参加をお待ちしております。

北部カンファレンス

第161回 2019年5月14日(火)

第162回 2019年9月10日(火)

第163回 2020年2月4日(火)

糟屋医師会と共催の北部カンファレンスは年3回、診療内容を中心としたトピックスや新任医師のご紹介を兼ねた研修会を開催させて頂き、159回を数えます。主には地域の医師、看護師のみなさまの参加を頂いています。



臨床腫瘍カンファレンス

第40回 2019年7月9日(火)

第41回 2019年11月12日(火)

地域がん診療連携拠点病院として、年2回ご案内しています。外部講師をお招きして、がんに関連した内容の研修会を行っています。



地域交流会



2019年度 第1回 2019年7月24日(水)

2019年度 第2回 2020年1月22日(水)

退院調整事例の検討会です。地域連携について多職種で検討する場です。

ぜひご参加下さい。

リハビリテーション科の公開講座や看護部の地域学習会等も行っています。どなたでも参加できます。

救急プライマリケア カンファレンス



第62回 2019年6月11日(火)

第63回 2019年10月8日(火)

第64回 2020年3月10日(火)

救命救急センターへ搬送された症例について、院外・院内職員との情報共有や連携検討の会として年3回行っています。

各種研修会は、地域の医療従事者の方は、どなたでも参加が可能です。

研修についてのお問い合わせは

地域医療連携室まで

電話 **092-943-2331**



災害実働訓練は 地域のため



統括診療部長 岡林 寛

福岡東医療センターは災害拠点病院です。大地震、洪水等の自然災害、テロなどの事件、大事故、感染症の蔓延など不測の事態が発生した際は、通常業務を中止してでも災害医療を率先して行う義務があります。いち早く病院機能を立て直し、被災した地域住民への医療活動を開始しなければいけません。災害訓練は、地域社会のためと言ってもいいでしょう。

私共は年2回病院をあげての災害訓練を行っています。平成31年3月25日に年度2回目の災害実働訓練を実施しました。宗像水光会総合病院の救命センターとの情報交換もためしてみました。古賀市をはじめ近隣5町の行政からも見学に来られ、今後の災害対策に生かせる貴重なご意見を賜りました。災害が少なく平和な古賀市ですが、今後も危機管理の向上に努めていきたいと思ひます。



第38回 The 38th Annual Meeting of the
Fukuoka Association for Acute Medicine

福岡救急医学会を 古賀市で開催します

病院長 江崎 卓弘



福岡東医療センターは今年9月7日（土）、古賀市の“リーパスプラザこが”で第38回福岡救急医学会を開催します。

福岡救急医学会は毎年9月に福岡県内各地で開催され、医師、看護師、救命士、その他救急医療に係る職種が参加する学会です。

この数年間の開催地は、ももちパレス、北九州国際会議場、アクロス福岡などですが、福岡東医療センターが古賀市で開催することは初めてです。

古賀市で開催する理由は会場近くに JR 古賀駅や九州自動車道古賀インターがあり、アクセスが良好です。さらにリーパスプラザは学会開催が可能な施設であり、地元の役に立ちたいということもあります。

学会テーマを『地域の実状に応じた救急医療』とし、サブテーマは①多発外傷・重症外傷の対応と②病院前救護の在り方としました。①は多臓器損傷を来す重症外傷について地域・施設間較差のある実態を知り、それぞれに合った診療の在り方を、②は地域で異なるメディカルコントロール（MC）体制の現状、あるべきMCについて検討します。その他、一般演題や共催講演（ランチョンセミナー：嚥下、心肺蘇生等）、多職種向けの教育講演（小児救急、熱

傷、精神科救急など）に加えて地元住民向けの公開講座（予防救急、救急車について）も企画しています。

学会ホームページも開設しました（<http://www.nksnet.co.jp/faam38/index.html>）。学会内容を逐一更新していきますので是非閲覧して下さい。[検索]：福岡救急医学会 で直ぐにアクセスできます。

関係する皆さんは奮って参加していただきますよう、どうぞよろしくお祈りします。

第38回
福岡救急医学会

— 地域の実状に応じた救急医療 —
医療機関に応じた重症外傷・多発外傷の診療
MC体制の現状と在り方

会期 2019年9月7日土
会場 リーパスプラザこが
(古賀市生涯学習センター)
会長 江崎 卓弘
(独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 院長)

事務局
独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター
〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1番1号
TEL 092-943-2331 FAX 092-943-8775

運営事務局
株式会社西日本企画サービス 事業部
〒830-2809 福岡県久留米市東町3丁目10-35
TEL 0942-34-5900 FAX 0942-34-6652
E-MAIL faam38@nksnet.co.jp
<http://www.nksnet.co.jp/faam38/>

編集 後記

編集後記を担当し、1年経過した。そして、5月1日に新たな令和の時代が始まった。皆様にとり平成の時代はどのような時代でしたか。

広報委員会が再スタートしたこの平成最後の1年を振り返った。特集、診療科紹介、地域連携だよりは通常の企画を各号掲載でき、昨年7月の自然災害に参加した当院のDMATの活動などタイムリーな内容も掲載できた。しかし、豆知識など単発に終わった企画もあった。時間に追われた各号の企画の反省から今年はちどり年間計画を作成し、あらかじめ執筆者に原稿依頼を年度当初にお願いすることとした。広報委員会では、今年も馬力を入れちどりの発行に邁進していく所存で、企画された内容を実行していく有言実行を令和時代に推進していきたい。

今回の号は、令和になってから初めての号です。当院のすべての診療科の案内、新たに來られた医師などの職員の紹介を中心とした企画である。特に、各診療科の案内は皆様に当院の診療内容を把握して頂く資料としてご活用頂ければ幸いに存じます。

新たな令和の時代のスタートですが、健康あつての良き時代かと存じます。皆様、お体にご自愛ください。（大賀記）

外来担当医一覧 令和元年5月1日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokae.hosp.go.jp/

受付時間

- 1) 午前8時30分から午前11時00分まで。 ※予約の方は、指定された時間においで下さい。
 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科	月	火	水	木	金		
内科新患(別紙参照)	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医		
脳神経内科	新患	田中 恵理	立花 正輝	古森 元浩	田中 恵理	黒田 淳哉	
	再来(脳血管内科)	三浦 聖史	中根博・古森元浩	黒田 淳哉	村谷 陽平	立花 正輝	
	再来(神経内科)	-	田中 恵理	田中 恵理	九大医師	吉村 怜	
糖尿病	新患	野原 栄	-	原 功哉	担当医	堤 礼子	
	再来	堤礼子・原功哉	-	野原栄・堤礼子	原 功哉	野原 栄	
血液内科	新患	-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来	齋藤 統之	齋藤 統之	黒岩 三佳	-	黒岩 三佳	
消化器内科(消化管・肝臓・膵臓)	肝	高尾 信一郎	多田 靖哉	青柳 知美	多田靖哉・高尾信一郎	-	
	膵胆	松尾 享	大越 恵一郎	松尾 享	松尾 享	大越 恵一郎	
	消化管	藤井 宏行	坂井 慈実	細川 泰三	田中 宗浩	糸永 周一	
腎臓内科	新患	松枝 修明	黒木 裕介	黒木 裕介	竹内 実芳	生島 真澄	
	再来	黒木 裕介	松枝 修明	竹内 実芳	黒木 裕介	松枝 修明	
循環器科	第一診察室	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	
	第二診察室	細谷 まるか	野田 裕剛	出石さとこ	中司 元	升井 志保	
呼吸器科	新患	中野 貴子	田尾 義昭	高田 昇平	吉見 通洋	山下 崇史	
	再来	田尾 義昭	高田 昇平	吉見 通洋	高田 昇平	田尾 義昭	
		山下 崇史	山下 崇史	中野 貴子	迫田 宗一郎	吉見 通洋	
呼吸器外科	岡林 寛	瀧武 大輔	前川信一・阿部創世	中島 裕康	岡林 寛		
外科	新患	大賀丈史・信藤由成	(手術日)	辻田英司・笠木勇太	(手術日)	大賀丈史・笠木勇太	
	再来	大賀 丈史		辻田 英司		辻田英司・信藤由成	
	乳腺	-		笠木 勇太		中山 湧貴	
血管外科	-	隈 宗晴	隈 宗晴	(手術日)	-		
整形外科	新患	中家 一寿	福元 真一	(手術日)	吉田裕俊・松原弘和	(手術日)	
	再来	岡本重敏・名取孝弘	吉武 孝次郎		柴原 啓吾		
		福元 真一	吉田 裕俊		中家 一寿		
脳神経外科	新患	大城 真也	千住 緒美	(手術日)	小川 さや香	保田 宗紀	
皮膚科(予約・紹介状をお持ちの方のみ)	新患	保田 宗紀	大城真也・保田宗紀		大城真也・保田宗紀	大城 真也	
	再来	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	
小児科	午前	一般	中原 和恵	桜井百子(馬場晴久)	中原 和恵	松永遼(石崎義人)	中原 和恵
	午後	専門(予約)	増本 夏子		石崎 義人	水野勇司・河原隆浩	馬場 理絵子
		専門(予約)	石崎 義人	水野勇司・桜井百子	中原和恵・石崎義人	増本 夏子	中原和恵・石崎義人
放射線科	新患	月・水・金午後13時～17時 (※事前に必ず電話予約が必要です)					
歯科口腔外科	再来	九大医師		九大医師		九大医師	
婦人科	新患	吉田将律・沖永耕平	吉田将律・沖永耕平	吉田将律・沖永耕平	吉田将律・沖永耕平	(再来のみ)	
	再来	内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	(手術日)	内田 聡子	
		河村 英彦	河村 英彦	河村 英彦		河村 英彦	

* 小児科の入院依頼や受診相談は、病院代表 TEL092-943-2331 から
 小児科紹介担当医師(月・馬場理絵/火・馬場晴久/水・桜井/木・石崎/金・松永)へ、
 夜間休日は小児科当直へご連絡ください。

- 物忘れ外来《特殊外来》
 完全予約制(内科外来 内247)【担当医 田中恵、吉村】
 『金曜日 13:30～14:30』予約受付は平日月～金 13時～15時の間でTEL予約
- 緩和ケア外来
 完全予約制(担当看護師 内8184)【担当医】『火曜日・木曜日 午前中』

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター
 〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1
 HP <https://fukuokae.hosp.go.jp/>
 TEL 092-943-2331
 0120-212-454 (地域医療連携室)
 FAX 0120-087-437